

中国経済の質の高い発展が始まる年



昨年6月に利用開始した沱江をまたぐ四川-重慶送電ネットワーク第3ルート。同ルートの構築は中国南西部におけるクリーンエネルギーの利用を促進した(新華社)

今年是中国共产党第19次全国代表大会(党大会、19大)閉幕後の最初の年で、小康社会(ややゆとりのある社会)の全面的完成の勝敗を決め、第13次5カ年計画(13・5)の実施において前半を受けて後半を開く鍵となる年であり、改革開放40周年でもある。この1年、習近平新時代の中国の特色ある社会主義

思想の指導の下、改革開放は一連の新しい措置を打ち出し、中国経済がより高いレベルへ発展するよう推進し、中国経済の質の高い発展の年を切り開いていく。

今年、中国経済発展のイノベーションによる原動力はより強くなる。イノベーションは質の高い発展を実現するための根本的な原動力だ。世界的な所有権機関(WIPO)が発表した「世界イノベーション指数」によると、中国のイノベーション指数は2012年の世界34位から17年の22位に上がり、イノベーション型国家に仲間入りした。「中国製造2025」は目覚ましい成果を挙げており、高速列車「復興号」を代表とする先端軌道設備と「華龍1号」を代表とする第3世代の原子力発電技術などのハイテク装備製造業はすでに世界一流レベルに達し、国際ハイエンド市場進出に成功した。産業用ロボットの生産

量は12万台以上となり、世界市場の4分の1のシェアで世界1位に躍進すると見込まれている。C919大型旅客機の初飛行など代表的な重要なイノベーションの相次ぐ登場は中国製造業がパリューチェインのミドル・ハイエンドに向かって加速度的にまい進していることを象徴した。新しい1年、中国のオリジナルイノベーション能力は新しい段階に上がり、「量子トンネル効果式イノベーション(1人当たりの国内総生産(GDP)が米国と同レベルまたはかなり高いレベルに達していても実現できるイノベーション)」の道を開き、イノベーションは实体经济の振興においてより強いけん引力を発揮することになる。

今年、中国の経済構造、地域構造、所得構造はより調和のとれた状態になる。これは質の高い発展のバランスの要求だ。過去の1年、サービス消費とグリーン消費は引き続き経済成長における「バラスト(底荷)」としての役割を果たし、最終消費の経済成長に対する寄与率は58・8%に達した。地域発展構造はより合理的になり、三大戦略は地域の協調発展を加速度的に推進し、雄安新区は重要な地域的波及・けん引作用を発揮し、新たな東北振興と中部地域台頭についての「13・5」計画は全面的実施の段階に入り、東部地域はモデルチェンジを加速してより著しいけん引力を発揮している。中国は

世界的な経済危機を乗り切るため、自然エネルギーや地球温暖化対策に公共投資し、雇用や経済成長を生み出そうとする「グリーン・ニューディール」政策が国際的な潮流となっている。その中国的実践である「緑色発展」戦略の理論的根拠と、中国の歴史的発展に即した歩みを分析する。

出版：日本僑報社
発行：2014年1月
定価：2300円+税



全世界において、新規雇用が最も多く、国民所得の増加が最も速い国の一つで、昨年の新規雇用は1351万人で、国民1人当たりの可処分所得の名義成長率は9・0%に達し、都市部と農村部住民のそれはそれぞれ8・3%と8・6%で、経済成長率を上回った。中国にはすでに3億人という世界最大の中間所得層が形成され、世界の中間所得人口全体の30%以上を占めている。今年、中国はまた1000万人の貧困人口の貧困脱却を実現し、公共サービスの水準と質の向上を加速し、人民の生活における獲得感が持続的に高まるよう取り組んでいく。

今年、中国の発展における生態環境の下地はより美しくなる。グリーンは質の高い発展における人間と自然の融合した発展の重要な象徴だ。昨年、中国の生態環境は著しく改善し、全国の単位GDP当たりのエネルギー消費量は3・7%低下し、3・4%という強制的目標を繰り上げて実現した。主な汚染物の排出量は持続的に減少し、エネルギー構造は持続的に最適化され、クリーンエネルギーのエネルギー消費総量における比重は前年より1・5ポイント向上した。今年是中国の環境が全体的に改善するための鍵となる1年であり、省クラスの地域のグリーン発展指数を中心とする環境保護監察は全面的な能力を実現し、環境対策と生態保護は重要な進歩を遂げ、「青空防衛

戦」に打ち勝つことを確実に保証する。また、清潔で低炭素、安全で高効率のエネルギーシステムを段階的に構築し、グリーン発展の新時代を切り開いていく。

今年、中国の経済発展の構造はより開放的になる。開放は質の高い発展を実現するために通らなければならない道だ。中国は引き続き世界の経済発展のために重要な原動力を提供し、昨年の中国のGDPが世界全体に占める割合は15・4%に達し、世界経済の成長への寄与率は37%に達し、貨物輸出入貿易が世界全体に占める割合は12・71%まで向上し、世界貿易の成長への寄与率は45%以上になると見込まれている。今年、中国は世界経済・貿易の回復においてリーダーとしての役割を果たし、「二帯一路」国際協力サミットフォーラムで達成された協力協議の実施を全面的に推進し、教育、科学技術、文化、衛生・医療、観光など人的・文化的分野における協力の拡大を図り、東アジア地域包括的経済連携(RCEP)とアジア太平洋自由貿易区の構築を推進し、世界貿易、投資、生産、サービスに向けた国際競争・協力の新しい優位性を作り出す。

胡鞍鋼
清华大学国情研究院院長、清华大学公共管理学院教授、博士課程指導教授。1988年に中国科学院の工学博士の学位を取得し、91年から92年までエール大学経済学部で博士研究員として在籍。2004年にロシア科学アカデミー東洋学研究所から経済学博士の称号を得る。中国の国情研究に関連する著作が日本語を含めて多言語に翻訳・出版されている。

(本稿は胡鞍鋼教授と清华大学公共管理学院的張新助教授の共同執筆による)